



たいせつに、たいせつに

《この紙しばいについて》

主に4〜5歳の幼児を対象として、身近にある水、ごみ（資源）、電気を、日頃から大切にしようとする心を育むため、この紙しばいを作成しました。

この紙しばいは、水、ごみ（資源）、電気のそれぞれ4枚1組の3篇のお話で構成されています。

水のお話では、お風呂で水遊びをしていたはなちゃんに、「しずくぼうや」が、水は人間だけではなく、いろんな所でみんなの役に立っていることを、やさしく教えてくれます。

ごみ（資源）のお話では、元気な未来（みく）ちゃんが、愛犬「ゴローちゃん」とお家で遊んでいるうちに、ごみをどこにでも捨てていると困ってしまう動物たちがいること、ごみだと思っているものでもきちんと分別すればリサイクルできることに気づいていきます。

電気のお話では、キラキラ光った小さな男の子「エレくん」が登場し、電気は大切という歌を歌います。その意味がよくわからなかったあきちゃんが、停電で真っ暗な中、お母さんとの会話を通して、電気の大切さに気づいていきます。

この3篇のお話を通したキーワードが、紙しばいの題名である、「たいせつに、たいせつに」となっています。

※ 表紙のうら面には脚本がないので、使用する場合は、題名「たいせつに、たいせつに」を読んだあと、表紙をぬいて、横にはずしてから、脚本を読み始めてください。

〈作成・編集〉

幼児用環境紙しばい編集委員

岩濱 里江子

神戸市立神戸幼稚園 教諭

金下 玲子

阪神・都市ビオトープフォーラム 事務局長

亀山 秀郎

学校法人七松学園七松幼稚園 副園長

北村 世安

兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課 主任

辻 理恵子

兵庫県立ひょうご環境体験館 環境教育推進員

平井 和恵

兵庫県教育委員会義務教育課 主任指導主事

矢野 日出子

神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科 教授

神吉 脩

神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科 准教授

植川 真美子

神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科 3回生

中村 由紀

神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科 3回生

平井 知沙都

神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科 3回生

たいせつに、たいせつに 12場面

平成25年3月 発行

発行 財団法人ひょうご環境創造協会

〒654-0037

神戸市須磨区行平町3-1-31

TEL：078-735-2737(代表)

FAX：078-735-2292(代表)

※ この紙しばいを無断で複写・複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。